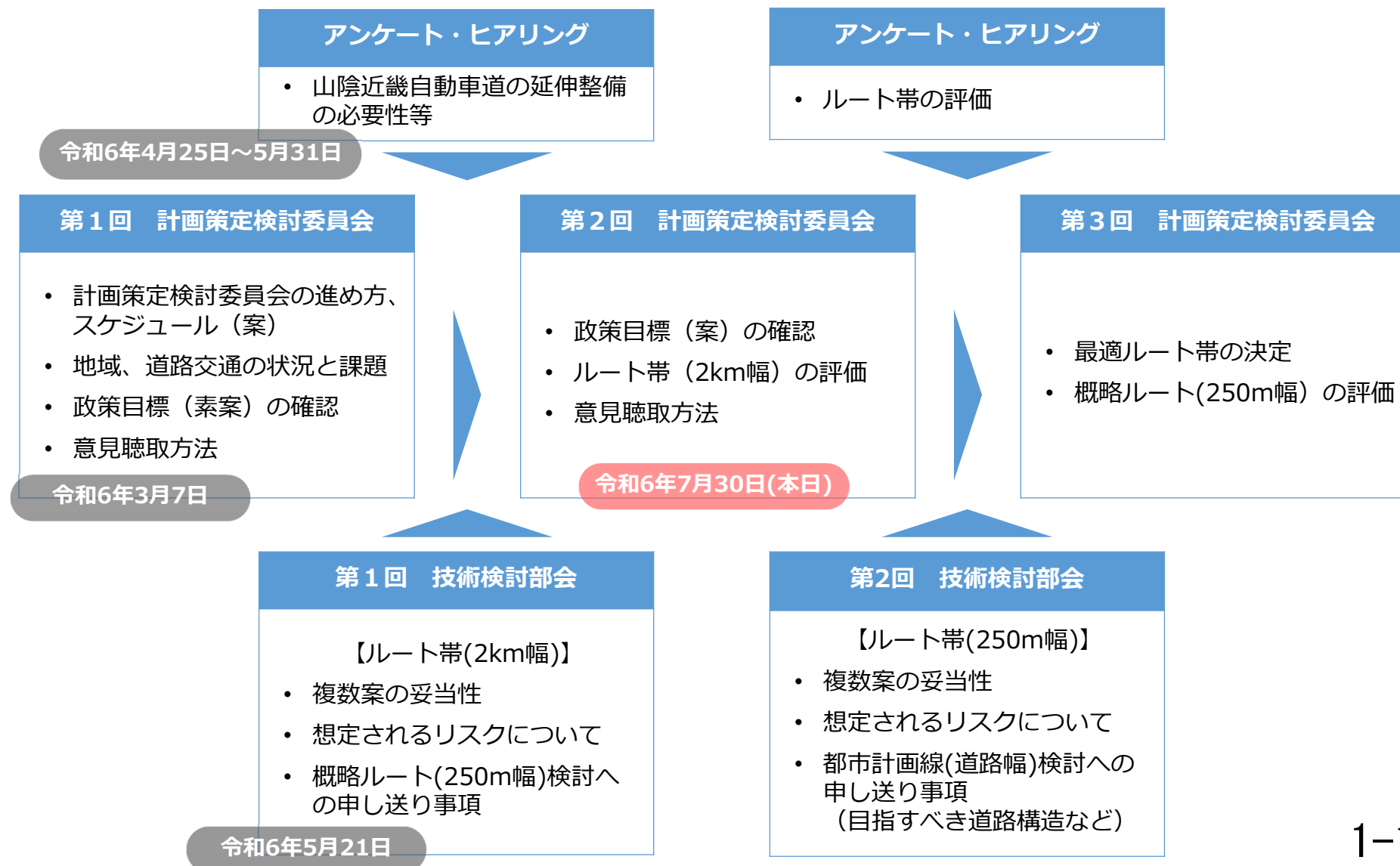


前回委員会の主な意見と対応方針

委員会・部会・アンケートのスケジュール

○ 国の「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」を用い、有識者からの助言や住民・利用者の意見を十分に踏まえた最適ルート帯（2km幅）を決定する。また、将来の都市計画決定に向けて、さらに幅を絞り込んだ概略ルート(250m幅)の検討・評価を行う。



前回委員会の主な意見と対応方針

○ 論点1

京都府北部を取り巻く状況、今後の経済社会情勢の視点などから、「地域の課題」「政策目標(素案)」について、他に考慮すべきことはないか。

■ 山田座長

- 道路整備というのは基本的に4つの効果が期待される。
- 1つ目は、人や物の円滑な移動。2つ目は、人や物の安全な移動。3つ目は地域経済の活性化。4つ目は地域の強靱化。
- これらの4つの効果が得られるように、道路を含めて交通というものを設計していく必要がある。

■ 宇野委員

- 「通行止め時に機能するネットワーク（代替性）の確保」とあるが、「通行止め」と「機能するネットワーク」という表現に違和感。
- 「事故、災害時にも機能するネットワークの確保（リダンダンシーの確保）」、「現道通行止め時にも機能する代替性に優れたネットワークの構築」等の代替案が良いのではないか。

■ 大西委員

- 若い世代の定着（地域の生活の質の向上に繋がる道路）を政策目標のどこかに追記してはどうか。

ご意見の主旨を踏まえ、政策目標や複数ルートの評価項目に反映。

前回委員会の主な意見と対応方針

○ 論点1

京都府北部を取り巻く状況、今後の経済社会情勢の視点などから、「地域の課題」「政策目標(素案)」について、他に考慮すべきことはないか。

赤木委員

- ・ 病院収容までの平均所要時間は、京丹後市が最長の43.9分で、最短は宮津与謝の30分。**搬送時間を少しでも短縮**し、地域住民に安心を届けるためにも、山陰近畿自動車道の早期全線整備が、待ち望まれている。

尾崎委員

- ・ 現在深刻になっている**雇用維持の面でも、豊岡まで50分程度かかるのが、10分~15分となると通勤圏内**となり、また、新しいビジネスチャンスも広がってくる。一方、地域の魅力作りも一緒に必要。

川浪委員

- ・ 本市においても、人口減少、社会生活の多様化によって団員の確保が大変難しい状況。
- ・ 能登地震を見ても、全国から多様な分野で応援が行われており、**早期の応援が人命救助や、復旧復興に欠かせない**。このような点からも、高規格道路の早期整備は、**防災関係の観点からも重要かつ喫緊の課題**。

田中委員

- ・ 京丹後市を訪れる**観光客の8割は京阪神地域からで、その9割近くが、自動車やバスで道路を利用して訪れることから、交通インフラの整備が必須**。

村岡委員

- ・ 海産物は鮮度が大変重要であり、鮮度の良いものから競りに落とされるため、**市場と道路のアクセス環境の良さは、新鮮な水産物の商品価値に直結する命綱**。
- ・ 海産物をより鮮度が良い状態で、舞鶴卸売市場に運ぶことができるようになれば、その販売力や売上高の向上により、**漁業所得の向上**が図られると期待している。

事務局の政策目標（素案）と整合。今後の複数ルートの評価項目に反映。

前回委員会の主な意見と対応方針

○ 論点2

山陰近畿自動車道に対する住民・利用者の意識把握にあたり、「整備の必要性」「コロナ禍」「能登半島地震」のほかに、聴取すべき項目はないか。

宇野委員

- 年齢、性別、居住エリア、職業等の情報はデータとして収集し、**属性別の反応も把握**できた方がよい。

谷口委員

- このエリア内が主であるが、**エリア外の近隣市町や、都市部の例えば観光事業者、**場合によっては産業に携わっている人、市民が、丹後に高速道路を作ったら、どんな行動を取るのかといった調査で、**この道路のニーズをしっかりと把握**して伝えていくということが重要ではないか。

ご意見の主旨を踏まえ、アンケートに属性を追加するとともに、対象者や調査期間・調査方法も拡大。

京都府 報道発表資料

募集のお知らせ

府政記者室、丹後広域振興局 同時資料配付

令和6年4月25日

山陰近畿自動車道への御意見をお寄せください

— 網野～久美浜の道路計画に関するアンケート調査、本日から —

■ 京都府では、山陰近畿自動車道（網野～久美浜）のルートを検討するにあたり、地域の皆様等からの御意見を伺うため、本日から5月31日までアンケート調査を実施しますので、周知をお願いします。

1 調査期間

令和6年4月25日（木）～5月31日（金）

2 調査方法

(1) 郵送アンケート

京丹後市内在住の18～79歳の3,000人（無作為抽出）に調査票を郵送
※調査票は本日から順次発送

(2) WEBアンケート

京都府ホームページ「山陰近畿自動車道アンケート調査」からアクセス
URL：<https://www.pref.kyoto.jp/doro/saninkinkiepxpy-anke1.html>



(3) 配架アンケート

市役所等に配架されたアンケート調査用紙に記入し、回収箱に投函

【設置場所】

京丹後市役所（峰山庁舎、大宮庁舎、網野庁舎、丹後庁舎、弥栄庁舎、久美浜庁舎）、
宮津市役所、伊根町役場、与謝野町役場、
丹後広域振興局（峰山総合庁舎、宮津総合庁舎）

(4) 街頭アンケート

道の駅、市役所等で街頭アンケートを実施

【実施日、場所】

令和6年4月30日（火）：道の駅 丹後王国食のみやこ（京丹後市弥栄町鳥取123）
令和6年4月30日（火）：京都縦貫自動車道 由良川PA（舞鶴市宇地頭小字平迫134-3）
令和6年5月1日（水）：道の駅 てんきてんき丹後（京丹後市丹後町竹野313-1）
令和6年5月1日（水）：ショッピングセンターメイン（京丹後市峰山町新町1606-1）
令和6年5月2日（木）：道の駅 くみはま SANKAIKAN（京丹後市久美浜町浦明1709）
令和6年5月2日（木）：アミティ丹後（京丹後市網野町網野367）
令和6年5月9日（木）：京丹後市役所（網野、久美浜庁舎）
令和6年5月10日（金）：京丹後市役所（峰山、丹後庁舎）
令和6年5月16日（木）：京丹後市役所（大宮、弥栄庁舎）
令和6年5月17日（金）：京丹後市役所（網野、久美浜庁舎）

※雨天等により実施日を変更する場合があります。

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部道路計画課 課長 傍島 TEL 075-414-5241
主幹兼係長 杉谷 TEL 075-414-5248



まみや

前回委員会の主な意見と対応方針

○ 論点3

今後、複数ルート帯を検討する上で、「地域安全保障のエッセンシャルネットワーク」や「観光立国の推進」を実現するため、山陰近畿自動車道はどのようなサービスレベルや機能を目指すべきか。

宇野委員

- ルート帯を設定される際には、**比較対象としての現道の拡幅・改良案もご準備いただく方が、新規のルート帯案を設定することの利点・課題点もより明確になる。**
- 道路のルート（及び線形、規格、構造）の面で、悪天候・災害（台風、水害、地震、津波）に対する耐性の点で優れた計画を立案していくことが重要。
- 観光客の利用が期待される道路という側面もあるので、景観面での配慮も望まれる。
- 可能であれば、市街地から見た場合の道路構造物としての景観面での美しさ、道路利用者目線で見えた場合の目に入る景色の面での美しさにも配慮したルート設定にできれば。
- 道路利用者の利便性確保の意味で、**居住誘導区域等からのアクセス性の点もルート帯設定の際に考慮が必要か**と思う。

大西委員

- 道路のリダンダンシーと併せて、**災害の外力に強い道路とすることが必要。**

谷口委員

- 人々の日々の暮らしで作られてきた文化的景観について、道路整備による悪い影響を極力減らし、良い影響を与えるのかを市民と一緒に考えることが大事。
- **高速道路と公共交通機関（丹後鉄道）が両立して、相乗効果が生まれる知恵を行政、事業者、そして市民が協働して議論していく必要がある。**
- 市民感覚と行政感覚、専門家の感覚のずれをどう均していくのか、情報共有を丁寧にすることが大事。

**ご意見の主旨を踏まえ、複数ルート帯の検討項目として反映。
鉄道に関するご意見は、今後の府政運営の参考とさせていただきます。**

前回委員会の主な意見と対応方針

○ 論点3

今後、複数ルート帯を検討する上で、「地域安全保障のエッセンシャルネットワーク」や「観光立国の推進」を実現するため、山陰近畿自動車道はどのようなサービスレベルや機能を目指すべきか。

■ 深町委員

- ・ 丹後半島は、海、里、農地、山が非常に近い位置にあり、一体として繋がっている地域であるため、この繋がりを如何に邪魔しないように、うまく生かすような形でのルート選定ができるかが大事。
- ・ 生物、文化的なホットスポットをしっかりと調査し、それらが反映された道づくりとしてもらいたい。
- ・ 水系の繋がり（流水の位置、連続性の分断の回避、農業用水等住民使用水への影響等）に十分な配慮が必要。
- ・ クマタカ、コウノトリ等の鳥類に代表されるように、絶滅危惧種を含めた貴重な野生生物が多くいるので、しっかりと調査を行い、蓄積された調査データを活用しながら、道づくりにつなげていただきたい

■ 三田村委員

- ・ 久美浜の東側の山地は地すべりが多発している地域であり、能登半島地震の事例から、トンネルの崩落、法面の崩壊等により、道路が寸断されないような道路計画が非常に重要。
- ・ 地すべり地形、斜面の崩壊が懸念される場所、土石流の影響を受ける範囲がないかといった土砂災害のリスク回避を考えた路線選定をお願いしたい。
- ・ 地形上、トンネル区間が多くなってくると思うが、地質帯、地層の中に含まれる重金属が課題となり、工事費が嵩張るという道路整備段階のリスクを想定し、過去の鉱山の有無や、重金属の分布状況等の事前調査が重要。

ご意見の主旨を踏まえ、複数ルート帯の検討項目として反映。